

国際女性デー記念シンポジウム

「ケア、国際移民、ジェンダー——日仏対話」

2011年3月5日(土)

於日仏会館1階大ホール

日本においてもフランスにおいても、ケアは主として女性の仕事と考えられてきました。そして両国において、ケアの担い手としての女性移住者の存在が注目されています。国際移民が拡大する今日、ジェンダー平等とは何を意味するのでしょうか。また、ケアの倫理はどのようなものとして構想されるのでしょうか。国際女性デーを記念して、日仏研究者による意見交換の場を設けます。どうぞ、ふるってご参加ください。(入場無料、同時通訳付)

<開場 9:30>

●10:00 ~ 開会挨拶

マルガレット・マルアニ(社会学、GDRE MAGE-CNRS)

辻村みよ子(法学、東北大学-GCOE)

マルク・アンベール(経済学、日仏会館フランス事務所代表)

●10:30~12:30

午前の部 女性、移動、そしてケア——日仏比較

◎司会 ティエリ・リボー(経済学、UMIFRE 19 CNRS-MAEE 東京)

*高畑幸(社会学、広島国際学院大学)

「介護へ向かう在日フィリピン人——職業的選択肢をめぐって」

*クリステル・アヴリル(社会学、パリ・ノール・第13大学-IRIS)

「フランスにおける在宅ケアとエスニックな不平等——その作用と実態」

*伊藤るり(社会学、一橋大学、IMAGE)

「高齢者介護労働の配置と国際移民——日仏比較の試み」

*フロラン・ジャンニカトリス(経済学、リール第1大学、CLERSE)

「フランスにおける<ケアの商業化>——女性の労働についての帰結」

●14:00~16:00

午後の部 グローバル化、外部化、そして女性の労働

◎司会 エレナ・ヒラタ(社会学、CRESPPA-GTM-CNRS, MAGE)

*足立眞理子(経済学、お茶の水女子大学、IMAGE)

「日本の介護保険と<再生産取引>」

*パスカル・モリエ(心理学、パリ・ノール第13大学-UTRPP)

「家族とケア労働者——家内性モデルから抜け出るためのパートナーシップの構築」

*イザベル・ピュエシュ(社会学、雇用研究センター、FEPEM)

「在宅の要介護高齢者への支援——複数の側面をもつ職業」

*神尾真知子(法学、日本大学)

「ケア労働と法政策」

*小ヶ谷千穂(社会学、横浜国立大学、IMAGE)

「アジアにおける女性の国際移動と重層する“ケア”の意味——送り出し社会フィリピンからの考察」

●16:00～ フロアと討論

●17:00 閉会挨拶 中嶋公子(日仏女性研究学会代表)

*共催: GDRE-MAGE-CNRS、東北大学 GCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」プログラム、国際移動とジェンダー研究会(IMAGE)、日仏会館フランス事務所、研究センターUMIFRE 19、日仏女性研究学会

*協賛: 科学研究費補助金(基盤研究 A)「仏伊独における移住家事・介護労働者」、フランス大学学院(IUF)

*問い合わせ先: 日仏会館フランス事務所 電話 03-5421-7641 ファクス 03-5421-7651

*参加申し込み: 氏名・所属・連絡先を明記の上、contact@mfj.gr.jp までお申し込み下さい。

*会場: 日仏会館 1階大ホール。JR 恵比寿駅東口から「動く歩道」経由で徒歩約 10 分。

http://www.mfj.gr.jp/acces/index_ja.php

*ウェブサイト http://www.mfj.gr.jp/agenda/2011/03/index_ja.php#anchor_1109

以上